

IR Report

第33期 第2四半期株主通信 (2012年1月1日~2012年6月30日)



増収・経常増益を達成

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、謹んで御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要の本格化などから景気は総じて緩やかな回復基調となりましたが、国内の電力不足懸念や欧州債務危機を中心とする海外景気の不安定要素により、景気の先行きは未だ予断を許さぬ状況にあります。



当社グループの業績への影響が大きい輸出においては、米国向けを中心に3月から緩やかな増加傾向を示しております（財務省貿易統計）ものの、依然、中国及びアジア経済の成長率の鈍化傾向、運賃の低下などから、その環境は一層厳しいものとなっております。

このような状況の下、当社グループは、平成25年を最終年度とする3か年の中期経営計画（「NTL Next Stage -アジアから世界へ-」）の目標である国際総合フレイトフォワードをめざし積極的な事業活動を行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は6,484百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業利益は483百万円（同10.7%減）、経常利益は521百万円（同4.3%増）、四半期純利益は313百万円（同8.6%増）となりました。

なお、通期の業績見通しにつきましては、期初公表の売上高13,500百万円（前期比7.7%増）、当期純利益780百万円（同37.2%増）から変更はございません。

代表取締役社長

岩野 徹

株主優待制度を創設します

当社はこのほど、株主優待制度を創設しました。当社株式を1単元（100株）以上保有する株主様は2,500円相当の商品（カタログから選択）か社会貢献活動団体への同額の寄付、20単元（2,000株）以上保有の株主様は5,000円相当の商品（カタログから選択）か社会貢献活

動団体への同額の寄付を、それぞれお選びいただけます。

対象となるのは、毎年12月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された1単元（100株）以上を保有されている株主様です。

2012年12月期末から開始いたします。

コンテナいろいろ

今や貨物輸送に欠かせない存在となったコンテナ。一見、どれも同じように見えますが、実は色々な種類があるのです。例えば…。

ドライ・コンテナ

箱の後部に外開きドアが付いたコンテナ。コンテナ輸送では最も一般的なコンテナで、「有蓋コンテナ」とも呼ばれます。機密性が高く波には強い反面、通風孔などが無いため内部温度は外気の影響を受けがちです。



オープントップ・コンテナ

箱の天井部分が開閉するタイプのコンテナ。多くは天板を持たず、幌や防水シートが張ってあります。クレーンを使って大型の貨物を積み込み、コンテナの長さを超える貨物も収容可能です。



フラット・ラック・コンテナ

天井や壁の一部がないコンテナ。ものによっては床と四隅の柱しかない場合も。大型機械や石材、鉄板などの大きく重い貨物を積み込みやすいことが特徴です。



リーファーコンテナ（冷凍コンテナ）

冷凍・保温ユニットを搭載し、内部温度の調整を可能としたコンテナ。冷凍貨物だけではなく、生鮮食料品や生花、化成品など温度変化に敏感な貨物の輸送にも適しています。



コンテナの大きさ (海上コンテナの場合)

コンテナのサイズは、国際規格などであらかじめ定められています。船倉などに効率的に積み込めるようにするためです。

	長さ	幅	高さ	一般的な総重量
20フィート型	6,058mm	2,438mm	2,591mm	20,320kg
40フィート型	12,192mm	2,438mm	2,591mm	30,480kg
45フィート型	13,716mm	2,438mm	2,896mm	30,480kg

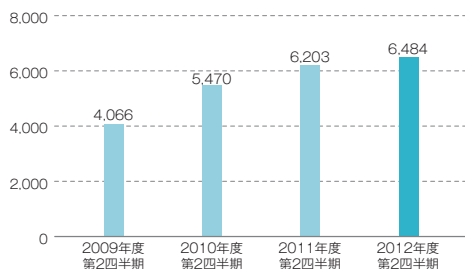
このうち45フィート型は、元々はアメリカで普及していたもので、2005年に国際規格となったばかり。積載効率の良さが特徴ですが、日本では一部の特区を除いて公道の走行が規制されています。

連結財務指標

■当第2四半期の業績

売上高

(単位:百万円)



6,484

百万円

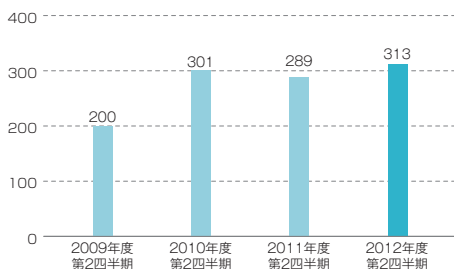
(前年同期比4.5%増)



国内では主力の混載貨物輸出が減る一方、輸出フルコンテナ輸送や輸入貨物が好調で、売上高は前年同期比4.2%増となりました。海外では中国、インドネシア、米国で現地法人の売上高が大きく伸び、全体でも同5.4%の増収となりました。

四半期純利益

(単位:百万円)



313

百万円

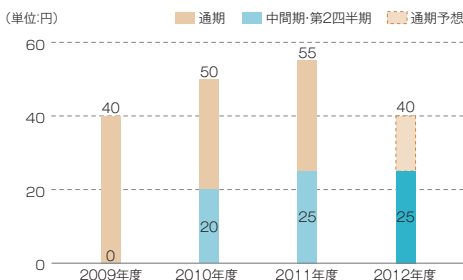
(前年同期比8.6%増)



販売費及び一般管理費の増加に伴い営業利益は減少しました。しかしながら支払手数料などの減少により営業外費用が減少し、前年同期は資産除去債務会計基準適用に伴う過年度償却費を計上した特別損失も当期は大幅に減少した結果、四半期純利益は前年同期比8.6%増となりました。

1株当たり配当金

(単位:円)



25

円

(前年同期と同額)



業績の推移並びに財務状況などを総合的に勘案しつつ、安定的な配当の継続実施を将来にわたり堅持するとの方針のもと、当第2四半期の配当金は前年同期と同額の25円としました。通年では計40円とする方針です。

(注) 年間配当の予想は、株式分割前の第2四半期末の配当と株式分割後の期末配当を合計したものであり、株式分割実施前に換算すると、期末配当は1株当たり30円00銭、年間配当は1株当たり55円00銭となり、実質的には前年同期と同額となります。

キャッシュ・フロー指標 (単位：百万円)	2009年度 第2四半期	2010年度 第2四半期	2011年度 第2四半期	2012年度 第2四半期
営業活動による キャッシュ・フロー	217	412	309	355
投資活動による キャッシュ・フロー	△88	△12	△482	△269
財務活動による キャッシュ・フロー	△120	△97	△48	△223
現金及び現金同等物の 四半期末残高	2,286	3,109	3,362	3,427

資産関連指標 (単位：百万円)	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度 第2四半期
総資産	5,220	5,933	6,326	6,749
純資産	4,206	4,723	5,040	5,300
自己資本比率 (%)	80.0	79.2	79.0	77.9

1株当たり指標 (単位：円)	2009年度 第2四半期	2010年度 第2四半期	2011年度 第2四半期	2012年度 第2四半期
1株当たり四半期純利益	81.92	123.40	55.59	59.93

(注) 2012年7月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っており、1株当たり指標の算定については、2011年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

Topics

国際輸送会社を買収、航空輸送サービスの本格展開へ

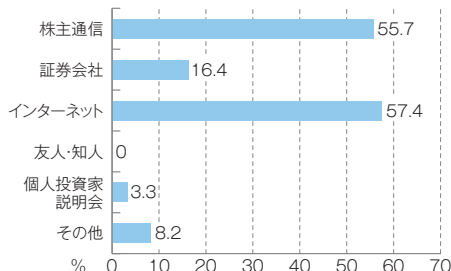
当社は6月、大阪市に本拠を置く国際輸送会社「株式会社ユーシーアイエアフレイトジャパン」を完全子会社化しました。

同社は、航空輸送・海上輸送を軸としたドア・トゥ・ドアの国際一貫輸送を手掛ける企業。今回の子会社化を通じ、当社は海外現地法人などを通じた海外中心の航空輸送サービスを展開できるようになりました。これにより、中期経営計画に掲げた「国際総合フレイトフォワード」への道筋をより一歩確かなものとし、お客さまにはより良い輸送サービスをお届けしてまいります。

およそ8割の方が「長期保有」「買い増し」のご方針

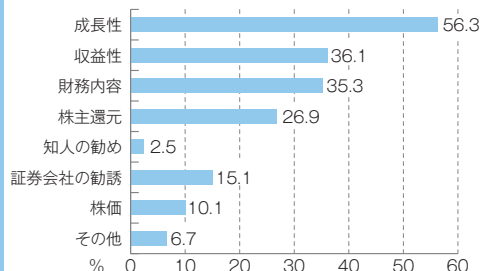
第32期株主通信ご送付の際に実施いたしました「株主アンケート」では、全株主様の11.2%に当たる123名の方々からご回答いただきました。ご協力いただきました皆様に御礼を申し上げますとともに、集計結果をご報告させていただきます。

質問1 当社に関する情報入手手段（複数回答）



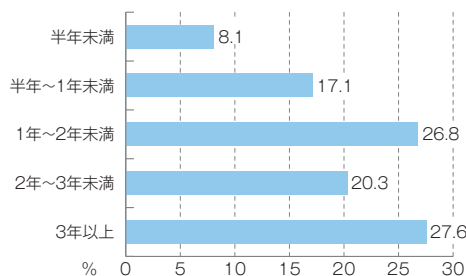
「インターネット」の57.4%が最も多く、「株主通信」の55.7%が続きました。

質問2 当社株式を購入された理由（複数回答）



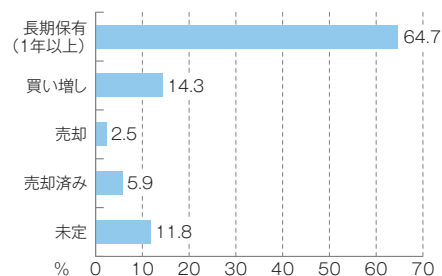
「成長性」が56.3%と最多で、「収益性」「財務内容」も3割を超えました。

質問3 当社株式の保有期間



2年以上保有されている方が、全体の半分近い47.9%となりました。

質問4 当社株式に対する今後の方針



「長期保有」とのご回答が64.7%とほぼ2/3を占め、「買い増し」と答えられた方も14.3%おられました。

株主様の声（一部）

- 市場での流動性に欠けるため株価が大きく振れすぎる。株式分割ができないでしょうか？（60代男性）
- 中計の達成を前提としてだが過小評価されていると感じるので、IRを充実させると良いのでは（30代男性）
- 自社株の購入や配当を増やして欲しい（30代女性）

株主優待制度を希望されるご意見が多くありましたが、1ページに記載のとおり、2012年12月期末より、同制度を実施いたします。また、株式の流動性向上を希望されるご意見も複数いただきました。当社では、2012年7月1日付で、1株を2株に株式分割いたしました。

会社概要

会社概要

2012年6月30日現在

社名	内外トランスライン株式会社 (英名：NAIGAI TRANS LINE LTD.)	加入団体	FIATA IATA 国際フレイトフォワードーズ協会(JIFFA) 日本国際貿易促進協会
設立	1980年5月1日		日本貿易振興機構(JETRO)
代表取締役社長	戸田 徹		大阪商工会議所 東京商工会議所 神戸商工会議所 名古屋商工会議所 横浜商工会議所 福岡商工会議所
従業員数	466名(連結)		東京通関業会 横浜通関業会
資本金	225,322,240円		
上場市場	東京証券取引所市場第二部		

国内事業所

2012年6月30日現在

本社	大阪市中央区安土町三丁目5番12号 住友生命本町ビル 3階	神戸支店	神戸市中央区東町126番地 神戸シルクセンタービル 5階
東京支店	東京都中央区日本橋三丁目8番2号 新日本橋ビル 6階	広島営業所	広島市南区比治山本町16番35号 広島産業文化センター 10階
横浜支店	横浜市中区日本大通60番地 朝日生命横浜ビル 4階	門司営業所	北九州市門司区港町九丁目11番 門司港レトロスクエアセンタービル 3階
名古屋支店	名古屋市中区錦二丁目15番22号 りそな名古屋ビル 5階	福岡営業所	福岡市博多区博多駅前二丁目20番1号 大博多ビル 10階

役員一覧

2012年6月30日現在

代表取締役社長	戸田 徹	取締役	戸田 幸子
代表取締役副社長	常多 晃	取締役	太田 達雄
専務取締役	大川 友子	監査役(常勤)	佐藤 達朗
取締役	田中 俊光	監査役	木曾 隆司
取締役	三根 英樹	監査役	川崎 裕朗



表紙写真

シンガポール港

コンテナ取扱個数で世界2位^{*}に数えられる、アジア最大級のハブ港。最新のIT技術を用いた物流・税関システムにより、着岸から離岸までの所要時間が12時間以内という高効率を誇ります。英国植民地時代から貿易中継地点として栄え続ける良港です。

※2011年、Containerization International調べ

株主メモ

事業年度：毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会：毎年事業年度終了後、3か月以内に開催いたします。
基準日：定時株主総会 12月31日
 期末配当金 12月31日
 中間配当金を行う場合 6月30日
株主名簿管理人：東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所：東京都杉並区和泉2丁目8番4号
 みずほ信託銀行株式会社
 証券代行部
お取扱窓口：お取引の証券会社等
 特別口座管理の場合は、
 特別口座管理機関のお取扱店
特別口座管理機関お取扱店：みずほインベスターズ証券
 及びみずほ信託銀行
 フリーダイヤル 0120-288-324
 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
未払配当金のお支払：みずほ信託銀行 本店及び全国各支店
 みずほ銀行 本店及び全国各支店
 (みずほインベスターズ証券では取次のみとなります)

公告方法：電子公告の方法により、下記ホームページに掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
<http://www.ntl-naigai.co.jp/>

単元株式数：100株
上場取引所：東京証券取引所市場第二部
証券コード：9384

ご注意

証券会社に口座をお持ちの場合
未払配当金の支払、支払明細発行については、左のお取扱窓口、特別口座管理機関お取扱店をご利用下さい。

特別口座の場合

単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。みずほインベスターズ証券で単元未満株式の買増請求手続をされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。

内外トランスライン株式会社

〒541-0052 大阪府中央区安土町三丁目5番12号 住友生命本町ビル3階
TEL 06-6260-4710 FAX 06-6260-4719

